



とびら

No.87

(平成28年12月議会を掲載)

鹿島アントラーズ

石井正忠 監督 × 市議会



— CONTENTS —

特集『鹿島アントラーズ 石井正忠監督 × 市議会』	2・3	ページ
議会報告会	4	
12月議会の概要	7	
委員会の活動	9	
ここが知りたい！一般質問	11	
きかせて！あなたの夢	16	

―王者を率いる男―

鹿島アントラーズ

石井正忠 監督×市議会

2016年、我々が鹿島アントラーズが新たな歴史を刻んだ。

大逆転で優勝を勝ち取ったJリーグ、アジア勢初のクラブワールドカップ決勝進出での準優勝に続き、天皇杯では6年ぶり5度目の優勝に輝いた。

今号は、鹿嶋(カシマ)に、日本に、誇りと栄誉をもたらした王者 鹿島アントラーズを率いる名将 石井正忠監督に登場していただいた。



▲天皇杯の表彰式

議 よろしくお願ひします。まずは、鹿嶋への思いを聞かせてください。

―1991年から鹿嶋に住んでいます。当時はまだ鹿嶋町でしたね。もう、生まれましたところよりも長くなりましたし、すっかり鹿嶋市民だと思っっています。そして、スタジアムに足を運んで応援してくれる皆さんに喜んでも

らえるように、サッカーで結果を出したいという気持ちが強いです。自分のホームタウンだと思っていますので。

議 カシマのサポーターのこんなところがうれしい、などはありますか。

―選手だった時も声援にとっても励まされました。応援に来てもらえるというところが、本当にありがたいんです。チケットを手に入れるために行列ができていたのを見て心を動かされました。サポーターのためには戦うんだということも、監督になってから

石井正忠 (いしい まさただ) 千葉県市川市出身。1991年にNTT関東から住友金属工業へ移籍し、鹿島アントラーズの創設メンバーとなる。主にDFとして活躍。2015年に監督に就任し、2016年にはJリーグ最優秀監督賞を受賞。

選手にしっかりと伝えて、認識してもらおうようにしています。ゲームの時だけじゃなく、いろいろなところで応援をしてもらっていますので、感謝でいっぱいです。

議 初めてサッカーを見に行こうと思ってる人へ、アドバイスはありますか。

―スタジアムで観戦すると、選手のプレー中の声、ぶつかり合う音、ボールを蹴る音などを感じられ



「これまでの積み重ねがあつての結果。すべての方に感謝です」

ます。テレビには映らないプレーも見られたりするの。生のスポーツ観戦のだいご味ですから、ぜひ一度スタジアムに来て、感じてもらえたら。

それに、カシマのスタジアムの食べ物の充実度は、ちよつと他にはないです。僕は食べたことないんですけどね(笑)。いいな、と思いつながら。

議 成績があまり良くなかった時の監督就任でしたが、どのように選手を導いたのでしょうか。

―選手個人の能力は高い。それを出しきれてい

ないから、成績に表れないんだなと感じていました。選手それぞれの能力を100%引き出すためにはどうしたらいいか、ということをまず考えて、選手たちが自発的に行うようなトレーニングなども取り入れたりしました。

議 監督就任の1年間で、すばらしい成績を残されたご感想は。

―最優秀監督賞もうれしかったですけど、チーム全体で取ったものです。クラブワールドカップという大きな大会に出場できて準優勝まで行けた。

これはもうタイトルを取るといふ本気さが、ほかのクラブよりもあるんだと思うんです。この1年のことじゃなく、これまでの積み重ねがあつてのことなので、

OBの皆さんやクラブに携わるすべての方に感謝です。

議 オフの日は何をして過ごされるんですか。

―家でゆっくりしているというのが多いです。家族といると気持ちがいいです。草刈りしたりもします。家族といると時間が少ないので、一緒にいられるだけで僕は満足なんです。家族はどう思っているかわかりませんが(笑)。一緒に、外食にも出かけますよ。

議 学校の保護者活動や地域などでの活動も積極的に参加されていますね。

―コーチの時は、幼稚園のバザーの準備や学校の読み聞かせにも参加していました。ジーコの教えでもある「サッカー選手

である前に地域の市民なんだ」という意識で、地域の一員としてお手伝いできることはやりたいと思っています。

議 新しい選手が加入しました。チームにしたい、などは。

―まずは、アントラーズのスタイルを理解してもらいたいです。

そして、チームの目標はアジアのタイトルです。これを取らないと、クラブワールドカップに出られませんか。昨年以上にチーム力のレベルアップを徹底的に行っていきたいと思います。

議 議会も、盛り上げようとして取り組んでいるんですが、なかなか…。

―議会で、赤いTシャツを着て応援していただいていると聞いています。

そういうことがじわじわと、鹿嶋市に限らず、盛り上げていくと思えますので、活動していただけて本当にありがたいです。

僕たちも、アントラーズをキーワードとして、まちが元気になつたらいいなと思っています。そのためにもいい成績を残し「強いクラブ」として、また、ホームタウンの人たちに「愛されるようなクラブ」になるようにしていきたいです。そして、選手が身近にいたり、スタジアムがあるということや、それを幸せに感じてもらう方がいいですね。

まちの皆さんも、どんどん僕たちに声をかけてもらいたいと思います。それが選手の力になります。これからもよろしくお願ひします。

石井監督をはじめ、クラブのスタッフの皆様には、お忙しいところをご協力いただき、本当にありがとうございました。



平成28年度

議会報告生口会

<開催日時>

平成28年11月27日(日)

1回目=大野地区
10:00~大野ふれあいセンター

2回目=鹿島地区
14:00~鹿嶋勤労文化会館

平成28年11月27日、大野ふれあいセンターと鹿嶋勤労文化会館を会場に議会報告会を開催し、47人の市民の皆さんにご参加いただきました。

議会報告会は今年で8回目を数え、今回から広聴機能を充実させるために発足した広報広聴委員会が、企画や運営を担当することになりました。

当日は、池田議長のあいさつと出席議員の紹介に続いて、各委員会の取り組みを報告した後に、報告内容への質問や市政全般の意見交換を行いました。

両方の会場で、違法残土問題や敬老会、公共交通に関する質問や要望などが多くありました。概要をご紹介します。

許すな！ 「違法残土の持ち込み」

深刻な違法残土の問題。議会は、安心安全な暮らしを守るため、継続した取り組みを実施していきます。

Q やった業者などへの罰則は、何もないのか？

A ※市の条例違反で服役中である。

大野地区内で、4か所に残土が持ち込まれていたが、現在は全てストップしている。

花の山地区では、運び込まれた残土によって排水路がせき止められ、池のようになっている。

【総務生活委員会では、現地に確認するなどの調査を進めてきました。今後この問題を注視し、市と力をあわせて継続して取り組んでいきます。】

【鹿嶋市土砂等による土地の埋立て、盛土及びたい積の規制に関する条例】

平成4年に制定された条例。最も重い罰則として2年以下の懲役か100万円以下の罰金が定められている。

▼池のようになっている花の山地区の違法残土埋立て箇所



＜敬老会内容の推移＞

	平成 20 年	平成 23 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 37 年 の予測
対象年齢	71 歳以上	71 歳以上	72 歳以上	73 歳以上	75 歳以上	75 歳以上 だとすると ↓
対象者数	8,424 人	9,809 人	10,551 人	10,062 人	8,572 人	11,897 人
出席者数	3,477 人	4,167 人	4,559 人	4,193 人	3,605 人	
予 算 額	約 1,922 万 _円	約 2,366 万 _円	約 2,474 万 _円	約 2,420 万 _円	市と社協の 予算額の合計 約 1,353 万 _円	

※平成 37 年（2025 年）の対象者数は茨城県常住人口によるものです。

どうする!?! 「敬老会」

議会は対象者の設定などに提言。実施後の検証をしていく考えです。

Q 敬老会の記念品は、出席しないともらえないの？

Q 予算は前年の約半分。それでも高齢者に温かいまちなの？

A 敬老会の実施内容は、議会でも課題だと考える。調査していきたい。

こんな意見もありました②
記念品の郵送は経費がかかる。

過去に郵送したこともあったが、すぐく経費がかかる。まもなく敬老会の年齢になるが、そんな経費はできるだけ抑えて…。あれもこれもではなくて、本当に必要なものを議会は見て、判断してほしい。

こんな意見もありました③
記念品の配付のついでに様子を見ることも大事だと思う。

(記念品配付を) 覚悟していたが、やらなくなって拍子抜けした。ときどき回っていくことが必要な部分もあると思う。復活するかどうかわかりたい。

また、対象者について「去年は出席したけど、今年は招待が来ない」などのこともあるだろうから、良い方向でお願いしたい。

こんな意見もありました①
欠席者への記念品配付は、大変な作業だ。

地区によっては 70 件以上もあり、家もどこだかわからなくて、とんでもなく大変な作業でした。

区で話し合って、参加できる人がまとめて受け取るようにしたから、本当に助かりました。やり方次第だから、区などで考えればいいですよ。

Q 対象年齢を 75 歳に引き上げた。実施して、どうだったのかのチェックは？

A 『敬老会のあり方』など、テーマをもった意見交換会を実施していきたい。

敬老会は重要な事業だと思う。議会が付帯決議をしたことが敬老者のためになるのか、ボランティアのためになるのかは精査しきれっていない。調査を進めたい。

いろいろな意見を聴かせていただいた。今後、報告会をタイトルではなく、テーマを絞った意見交換会を開催し、考えていけたらと思う。

どうなる!?! 「公共交通」

誰もが迎える高齢期。生活していくために大切な交通手段を、どう確保するか。

【鹿嶋市地域公共交通活性化協議会】

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき、地域公共交通網形成計画の策定や地域公共交通網形成計画の実施に関する協議を行うことを目的として、平成 28 年 4 月に設置されました。

委員は 20 人で、会長を副市長が務め、国土交通省や茨城県などの関係機関と民間の公共交通事業者、学校長、一般公募で選ばれた 3 人の市民などで構成されています。この協議会での決定事項が、市の公共交通に関する施策につながっていきます。

Q デマンド交通は、2 年後に実現するの？

Q デマンド交通の受益者負担額は、いくらになる？

A **公共交通の会議で検討されているところ**

市の公共交通の会議でいろいろな方策が練られていく。平成 30 年の 4 月にスタートできたらいいという状況。実現に向けて一丸となって努力したいと思う。交通弱

者への対応として、皆さんも訴えていただきたい。受益者負担はあると思うが、まだ具体的な額はわからない。

Q 免許証返納者への優遇措置はないの？

A **要望していく予定**

今は、免許のない方にタクシー初乗り助成があるだけ。免許証返納者への優遇措置は、総務生活委員会でも要望していく。皆さんのご支援をお願いしたい。

【デマンド型交通】

路線バスとタクシーの中間的な交通機関で、事前予約によって運行する特徴がある。

市政のことなど

■ふるさと納税の返礼品は、食べ物ばかりでなく、鹿嶋市ならではの付加価値のあるものを。

■他市議会を視察して、鹿嶋市議会では通年議会をどう考えているのか。

■大野地区は下水道も整備されていない。温水プールや資料館などよりも、取り組むべきことでは。

■大野地区では、駅周辺に店ができてきた。整備すれば、もつと人口が増える。住みやすい場所になるのでは。

■議会は、行政のチェック機関として頑張ってほしい。

■市役所や公民館の中に、市民が集まれるお茶飲み場をつくってほしい。

■大野地区は別荘も多くやぶになっている。対策を練ってほしい。

■歩道の狭さや信号機の設置について、議会でも取り組んでほしい。

■議員定数が減っている。目配りが行き届かないのでは。

■少子化対策については、どのような考えでやっていくのか。

■宮中佐田線、神野向地区道路への安全対策を。

■自治会加入者減少への対策を。

■議会報告会に中学生や高校生も参加してもらっては。

■須賀団地の道路、速度規制看板が見えない。どこが担当するのか。

■ここなら家族を入院させられると思えるように、地域医療の充実を望む。

■議会報告会は、部会などごとに分ければ、意見が出やすいと思う。

12月議会の概要

12月の定例会は12月1日から15日までの会期で開催し、市長から条例6件、予算4件、報告1件、その他6件など、あわせて17件の議案が提出されました。議会からは、議会に提出された請願3件のほか、委員会や議員から意見書を2件、提言を1件、計6件の議案を提出しました。

議案への質疑はありませんでした。1人の議員が討論を行いました。

【議決結果】		(詳細はホームページをご覧ください)	
市長提出議案	条例	6件	原案可決6件(全員賛成6件)
	予算	4件	原案可決4件(全員賛成4件)
	報告	1件	継続審査1件(賛成多数1件)
	その他	6件	原案可決6件(全員賛成6件)
議会提出議案		3件	原案可決3件(全員賛成3件)
請願		3件	採択2件(全員賛成2件)、不採択1件

固定資産税の前納報奨金が廃止

■議案第76号 鹿嶋市税条例の一部を改正する条例：平成29年度から、固定資産税の前納報奨金を廃止するものです。

弁護士報酬の専決処分

引き続き継続審査に

■報告第6号 専決処分について(平成28年度鹿嶋市一般会計補正予算(第2号))については、9月定例会で継続審査とし、今定例会でもさらに継続審査すべきであると決定しました。

【委員長報告への質疑】

『平成28年請願第3号「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」の見直しにあたり、現行制度の継続を求める意見書の採択を求める請願』を、文教厚生委員会審査しました。文教厚生委員会での審査の結果は不採択にすべきとなり、本会議での委員長報告に対して、3人の議員から質問がありました。

川井 宏子 後期高齢者の窓口負担などの見直しにあたり、現行制度の継続を求める意見書の採択を求める請願が(委員会)で不採択となった。請願内容のどこに問題があるのか、理由を具体的に聞かせてほしい。

佐藤 信成 国会の与党で議論中だから採択すべきではないと捉えられる。今、国で議論をしているものは意見書を出すことができない、という縛りが生まれはしないか。その点の意見はなかったか。

宇田 一男 負担能力に応じた医療費の負担については一定程度理解しているが、75歳以上の2割負担やジェネリック薬品のことなど個別に対して、どんな意見がでたのか。

文教 厚生 請願の趣旨に対する反対意見でなく、提出が時期尚早であるということ。なお、審議中の今だからこそ提出すべきだという賛成意見もあったことを追加して報告する。

賛成=○、反対=×、欠席=-

賛否が分かれた議案 と 議員(会派)の賛否状況	公明かしま			鹿嶋をわくわくさせる会		日本共産党鹿嶋市議団		幹 会			是々非々の会		未来かしま								
	山口哲秀	樋口富士男	池田法子	出頭 克明	佐藤 信成	立原 弘一	川井 宏子	宇田 一男	根崎 彰	西塚 保男	菅谷 毅	河津 亨	田口 茂	篠塚 洋三	飯塚 俊雄	内田 政文	坂本 仙一	小池みよ子	栗林 京子	小松崎敏紀	
【報告第6号 専決処分について(平成28年度鹿嶋市一般会計補正予算(第2号))】を、継続審査とすることに	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
【請願第3号「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」の見直しにあたり、現行制度の継続を求める意見書の採択を求める請願】を、採択することに	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×

*池田芳範議長は、採決に加わりません。

平成28年請願第4号

鹿嶋市立歴史博物館・歴史民俗資料館等の建設に関する請願

採択した請願

【請願の趣旨】

鹿嶋は、日本最古の地図であります行基図に、関東地方の地名として最初に記載された地であり、奈良平安時代は藤原摂関家の氏神である鹿島神宮を中心に栄華を誇った。鎌倉時代以降は武士や庶民に崇敬され、明治・大正・昭和時代（戦前）は出征兵士の武運長久を祈願する神、戦後は武道の神・常陸帯信仰など日本歴史の中に大きく輝いている土地であります。

その鹿嶋信仰というべき歴史遺産を展示・研究・学習する施設「歴史博物館」等の建設を請願します。

【理由】

歴史遺産に恵まれた鹿嶋を観光客・歴史愛好者の安らぐ場所を演出することが出来る施設、今後の観光開発への拠点施設が、文化財を観光資源とする施策上、必要と思われます。

不採択とした請願

平成28年請願第3号

「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」の見直しにあたり、現行制度の継続を求める意見書の採択を求める請願

【請願の趣旨】

「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」の見直しにあたり、現行制度の継続を求める意見書を国に提出していただきたいこと。

【理由】

一般社団法人茨城県保険医協会が会員医療機関に対して行った調査では、32%の会員医療機関が、経済的な理由による患者さんの治療中断を経験していました。さらに、39%が医療費負担を理由に治療や検査を断られたことがあると答えています。「必要な検査を断る」「入れ歯やかぶせ物の処置をためらう」「支払いを年金支給日まで待ってほしい」・・・患者さんの実態が明らかになりました。

本年6月2日に公表された、経済財政諮問会議「経済財政運営と改革の基本方針2016～600兆円経済への道筋～」（骨太方針）では、社会保障分野において、「負担能力に応じた公平な負担、給付の適正化」をはじめとする改革を進めるとしています。さらに、財務省・財政制度等審議会は改革の方向として、(1)「受診時定額負担」の導入、(2)後期高齢者の窓口負担の2割化、(3)高額療養費制度の限度額の引き上げ、(4)市販類似薬の保険はずし、(5)入院時の居住代の徴収拡大など、さらなる患者負担増をもたらす制度設計を提言しています。—略—

さらなる患者負担増は多くの国民から医療を遠ざけ、とりわけ治療が長期にわたる高齢者の生活を圧迫することになります。—略—

文教厚生委員会 委員長報告（抜粋）

■平成28年請願第3号

「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」の見直しにあたり、現行制度の継続を求める意見書の採択を求める請願について

—略—

審査において願意妥当により採択すべきとの意見や、国会与党内で審議中のため採択する時期ではないとの意見がありました。

その後、2名の委員から採択すべきとの賛成討論があり、2名の委員から国民皆保険制度の維持について国が議論している最中であり、時機をみるべきとの反対討論がありました。

採決の結果、賛成少数で不採択とすべきものと決しました。
—略—

貴重な資料等を展示する場所が必要

歴史博物館等建設の請願を採択

総務生活委員会では、条例の一部改正など4件、請願1件を審査しました。

「請願第4号 鹿嶋市立歴史博物館・歴史民俗資料館等の建設に関する請願」の審査にあたっては、紹介議員2人に質疑を行いました。

討論はありませんでした。採決の結果、全ての議案について、可決・採択するべきと決定しました。

主な質疑

問 固定資産税の前納報奨金を廃止し、分割して納税されることになったら、市の財政の、現金のやりくりなどに問題は生じないか。

答 基金の繰り出しなどをする必要があるかもしれない。

問 議案第77号の督促手数料の廃止については、手数料がなくなるだけで、督促状を廃止するわけではないということか。

答 督促状の発行は、これまで通りに行っていく。

請願についての質疑

問 歴史博物館の建設場所に関わらず、歴史博物館という存在そのものが必要だという請願なのか。

答 この請願の趣旨は、あくまでも貴重なものを展示する場所が必要だというもの。にぎわいづくりとは別だと認識している。

文教厚生委員会

国会と党内での審議を意識し

高額療養費などにかかる請願を不採択

文教厚生委員会では、条例の一部改正1件、請願2件を審査しました。このうち、「請願第3号 「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」の見直しにあたり、現行制度の継続を求める意見書の採択を求める請願」については、2人の委員から賛成討論が、2人の委員から反対討論がありました。

私は賛成です

●まさに、医療危機に直面している国民の心配を正確に反映したものである。今出すことが最もいいタイミングだ。

●消費税の増税で社会福祉の確立というが、それに逆行する。経済財政諮問会議などの政府に対して意見が強い機関が影響すれば、実現する可能性もある。出すべきだ。

私は反対です

●医療費が増えていく中で、皆保険制度を維持していくために政府が検討中である。国の動向をみて取り組むべき。

●国でも、請願の中にある項目などに配慮すべきだと議論中である。国民全員が恩恵を受ける保険制度の維持のために、妥協点を探っていると考えるので、見守りたい。

採決の結果、議案第78号 鹿嶋市国民健康保険税条例の一部を改正する条例と、請願第2号「奨学金制度の改善と教育費負担の軽減に関する意見書」の採択を求める請願については、可決・採択すべきと決定し、請願第3号については賛成少数で不採択とするべきと決定しました。

請願についての討論の概要は次のとおりです。

NPO法人への委託

健全な運営ができるよう意見

会 員 委 員 会 経 済 市 都

都市経済委員会では、条例の廃止はなます公園の指定管理者の指定、液状化対策工事の変更請負契約など合計6件の審査を行いました。

討論はありませんでした。採決の結果、全ての議案について、可決するべきと決定しました。

主な質疑

問 はまなす公園の指定管理者の関連で、滑り台のローラーの管理費が100万円だが、壊れやすいものなのか。

答 利用料収入は、実績に基づき計上している。滑り台のローラーには、プラスチック製と金属製のものがあり、時間が経つと消耗して欠けたりするので、全部取り換えの場合の予算を計上している。金属製の

ものは、プラスチック製の3〜4倍の価格になる。

問 NPO法人に委託するメリットやデメリットの説明もしてほしかった。

NPO法人に対する考え方を整理すべき。

答 行政の1つの事業の受託だけでNPO法人が経営できるとは考えていない。障がい者施設などに進出してきたNPO法人も多いので、慎重に対応しチェックしている。また、役員手当で生業なりわいになるかという点と難しく、社会参画という側面が強いとみている。地域による公園管理に課題が出ているので、見直しの時期だと認識している。

会 員 委 員 会 常 任 決 算 予 算

温水プール、小・中学校大規模改造事業など
一般会計と特別会計の補正合計13億8千万円を審査

予算決算常任委員会では、議案第70号 平成28年度鹿嶋市一般会計補正予算(第4号)のほか国民健康保険や後期高齢者、下水道など特別会計の補正予算が3件の合計4件の審査を行いました。

1人の委員から一般会計補正予算への賛成の討論があり、全ての議案について原案を可決するべきと決定しました。

そのほか、9月定例会で継

【平成28年度 12月補正予算の内容】

会計別	補正額
一般会計	9億4,009万6千円 小・中学校大規模改造事業…6億554万5千円、 扶助費…7,917万7千円など
国保特別会計	4億3,831万9千円 保険給付費…3億6,295万4千円、 高額医療費…6,944万6千円など
後期高齢者特別会計	167万1千円
下水道特別会計	20万9千円
合計	13億8,029万5千円

続審査となった報告第6号 平成28年度鹿嶋市一般会計補正予算(第2号)については、継続審査としました。

主な質疑

問 高松緑地を天然芝、北海浜球技場を人工芝で施工する予定が、逆の整備に変更になったのはなぜか。

答 北海浜球技場は海に近く、飛散してきた砂が人工芝の隙間に入り込むと劣化が早くなる。また、高松緑地の方が海から遠く、年間利用がしやすいために変更するもの。

問 水田農業事業の転作補助金の効果と、今後の方向性は。

答 水田の維持に効果を上げている。担い手の高齢化が課題であり、転作助成を継続していきたい。



やまぐち てつひて
山口 哲秀 議員

〔発言時間＝60分〕

**Q 温暖化対策の実行計画
本市の方針は**

山口

地球温暖化対策の実行計画について、本市では作成しているのか。策定していなければ、どのような方針で、いつ策定するのか。

A 平成29年度に策定する予定

市長

県内では、本市を含めて4自治体が未策定である。平成29年度に計画を策定すべく準備を進めている。市の現状を正確に把握し、実行可能な対策を展開するとともに、有識者や市民の皆さんの意見を参考に、効果的かつ継続可能な計画を策定したい。

Q 援農ボランティアの導入を

山口

高齢化や後継者不足などで人手が足りない農家

と、農業をサポートしたい消費者を結ぶ援農ボランティア事業の必要性と、導入の方針は。

A 援農活動の取り組みを調査し

**経済
振興部長**

慢性的な超過労働に悩む新規就農者や若手農家の支援として、また、高齢化による耕作放棄地の解消等の効果が期待できるため、市内での援農活動の拡大に向けた取り組みを調査検討していきたい。

Q 読書通帳システムの検討を

山口

活字離れが指摘される中、図書館利用の推進や読書意欲を高める効果のある読書通帳の導入を検討しては。

A 導入を進めていきたい

教育長

北茨城市の図書館で導入された。子供たちは好きなシールを張り付けて記録を作成し、手づくり感やわくわく感で読書意欲が高まっていくようだ。本市でも、図書館情報システムの更新に合わせて、読書手帳の導入を進めたい。

《こんな質問・提案もありました》
○新地方公会計の取り組み状況



うだ かずお
宇田 一男 議員

〔発言時間＝60分〕

Q 学校教育の今後の方針は

宇田

鹿嶋市教育振興基本計画が策定されているが、重要施策は項目が多くわかりづらい。市が一番重要視する施策は何か。

A アクティブ・ラーニングの推進

教育長

1つを挙げるならば、「アクティブ・ラーニングの推進」である。子供たちのコミュニケーション能力やディベート能力を高めることをはじめ、学力の向上にもつながるなど、厳しい現実社会の中で、真に生きる力を育て、高める取り組みであると考えている。

宇田

小中一貫校は、平成30年度からの運用が計画され、高松小中学校区で検討する報道などもあった。小中一貫校教育とは、何を目標とするのか。

教育長

学力の向上、中1ギャップの解消や異なる学年の交流で上級生の自覚の芽生え、教職員の意識や指導力の向上、指導体制の充実などが挙げられる。また、鹿行地区は児童生徒の長期欠席率が県平均よりも高いので、その解消にも期待している。目標は1つでなく、9年間の落ち着いた環境によって児童生徒の情緒の安定、学力あるいは体力、運動力の向上といった複合的な効果を期待している。

宇田

小中一貫教育は全国的に取り組んでいる自治体も多く、少子化を見据えた学校統合や集約を行いつつ推進している。本市での学校施設の集約などの計画を尋ねる。

教育長

本市では、小中学校の集約や再編の計画はない。今後の児童生徒数の推移からは各校とも急激な増減は見られず、現在の学校規模で推移していくと見込んでいる。

《こんな質問・提案もありました》
○教育委員会制度改正後の課題など
○学区再編の状況

※中1ギャップ：小学生の頃にはあまりみられない、先学や後輩という関係や複数の小学校から集まった生徒同士による人間関係の再構築、学習内容の難易度の上昇など、複数の要因から学校不適応を起す問題。



いけだ のりこ 議員
池田 法子
〔発言時間 = 45 分〕

Q アプリなどを使って子育て情報発信の推進を

池田 アプリなどを導入して、鹿嶋独自のオリジナルの配信ツールなどをつくっていく必要性を感じているか尋ねる。

A スマホアプリなどの導入を検討

健康福祉部長 スマートフォンからアクセスが非常に多くなっているため、今後はスマートフォン上のアプリケーションを通じて情報を発信するシステム、プッシュ通知を搭載した子育てアプリなどの導入も検討し、妊産婦支援につながる情報を含めて、幅広い子育てに関する情報をより効果的に配信していきたい。

池田 産前産後のケアも含めた、妊産婦へのアプリなどをどのように行っているか。

健康福祉部長 保健センターを中心に、個々の必要に応じて、子ども福祉課をはじめとする各関係機関と連携しながら、支援をしている。

保健センターでは、保健師が居住地ごとの担当制をとりながら、母子健康手帳発行時の相談や問診、家庭環境などを踏まえ、全ての妊婦の状況を把握するように努めている。一般的な相談は、来所や電話でいつでも対応しており、個別支援が必要な場合は、担当保健師が継続的な関わりを持つことで、安心して出産を迎えられるように体制を整えている。

出産間近や出産後は、医療機関の関わりが大きくなるが、必要に応じて医療機関と連携を取り、情報を提供いただける体制が整っており、退院後も継続して支援ができるように努めている。里帰り出産の場合は、里帰り先の自治体に依頼し、訪問による状況把握を行っている。

《こんな質問・提案もありました》
○女性の就労を支える保育士の確保についての見解
○赤ちゃんに触れ合う事業の進捗状況



すがや つよし 議員
菅谷 毅
〔発言時間 = 45 分〕

Q 財政状況をどう分析するか

菅谷 臨時財政対策債などを含まない経常収支比率は94・1%と大変厳しい状況。現状の財政状況をどう分析しているか。今後の財政計画の方針は。

A 予測値よりは良好な数値

政策企画部長 平成27年度決算での臨時財政対策債を含む経常収支比率は91・1%になる。復興特区制度で課税免除した固定資産税の減収分を、一般財源にならない特別交付税として収入にしているために90%を超えているが、特別交付税分を市税として換算すれば、86・5%になる。平成23年度策定の財政計画の予測よりも市民サービス経費は増加しているが、自主財源が見込みを上回り、各種財政指標は予測値より良好な数値である。

今後は、事業の先送りや年度分割などの調整をし、財政負担の平準化に取り組んでいく必要があると認識している。

Q 電通の労災死を教訓に有効な時間外縮減対策を

菅谷 市職員の時間外勤務に実効ある縮減対策を求め。また、ストレスチェックの対応は。予防方法として、結果の有効活用を求める。

A 業務量の平準化などで縮減

総務部長 時間外勤務の増加要因の把握に努め、仕事の見直しや仕事量の平準化を図るなど、縮減に向けての取り組みを進めている。ストレスチェックについては、正規職員や一部の嘱託職員などに対して9月に実施し、11月に結果を通知した。今後、全ての嘱託職員に対して実施するよう検討していく。結果は安全衛生委員会に報告し、職場環境の改善に活用していきたい。

《こんな質問・提案もありました》
○庁舎内の適正な照明と室温管理を
○教職員へのストレスチェックの実施を
○職員への安全教育や危機管理体制の充実

※臨時財政対策債…国の地方交付税の財源が不足した場合、交付税の代わりに市に地方債という借入れをさせるもの。償還額は後年度に地方交付税として交付される。
※経常収支比率…人件費や扶助費、公債費など(義務的経費)に、地方税や地方交付税などの一般財源がどの程度費やされているかを求めたもの。



くりばやし きょうこ
栗林 京子 議員

〔発言時間＝45分〕

**Q 歴史資料館の建設地
変更の経緯は**

栗林 建設場所を変えるに至った経緯は。また、施設完成後に展示を予定している歴史資産を尋ねる。

A 鹿島神宮参拝者の誘導が必要

市長 鹿島神宮周辺地域のにぎわい創出に寄与するよう、市民や観光客との交流機能も備えた施設を整備したい。地区の活性化のためには、鹿島神宮の参拝者を誘導することが必要なので、整備区域を拡大し、面的な計画の中で歴史資料館を整備した方がよいと判断した。

**教育
部長**

国宝の直刀「薙霊剣」のほか85件の指定文化財がある。また、発掘調査で出土した資料は十数万点に上り、代表

的なものとしては、2万年以上前の旧石器時代の尖頭器といわれる槍先や、8000年以上前の縄文時代早期の伏見土器などがある。

**Q 神宮坂の景観補助基準
和風仕上げはなぜか**

栗林 区域内の建築物新築などの際、費用の一部が助成されており、補助だが、イルミネーションがある神宮坂はれんが敷きで洋風に整備されているのに、和風仕上げの基準である。市の見解を尋ねる。

A 過去の計画が修景基準に

**都市
部長** 修景基準は、平成19年に設置した「鹿島神宮門前町景観まちづくり委員会」で取りまとめた計画が基本になっている。今後、地区の皆さんの意見を確認しながら、見直しを検討していきたい。

《こんな質問・提案もありました》

- 鹿島神宮の宝物館と市の歴史資料館とのすみ分けや、双方の建設予定地は
- 郷土愛を育成する歴史教育の現状
- 51号バイパスの整備促進に向けた取り組み
- 女性の管理職登用や消防などへの雇用



ひぐち ふじお
樋口 富士男 議員

〔発言時間＝60分〕

Q 災害時の避難所運営は

樋口 避難所運営マニュアルはあるか。また、避難所設営訓練の実施状況を尋ねる。

A 各公民館でマニュアル策定済み

**市民
生活
部長** 鹿嶋市業務継続計画で避難所開設運営マニュアルシートを整備しているほか、各公民館で公民館防災マニュアルシートが整備されている。避難所設営訓練については、現在、まちづくり委員会や警察、消防署など関連団体と来年2月の実施に向けた協議調整を行っている。

**Q 成人用肺炎球菌ワクチン
予防接種の方向性は**

樋口 平成31年までの対象は65歳から5歳刻みだが、それ以降は65歳のみだという。その後の接種は必要なのか、ワ

クチンの効果は何年ぐらいあるのか。また、接種できなかった人への対応は。

A 国・県の方針を待って検討

**健康
福祉
部長** 平成31年度以降の対象者は、接種状況や接種記録の状況により改めて検討するとされている。ワクチンの効果は接種後5年経過後に、ピーク時の8割程度の効果になるとのこと。接種期間に接種できなかった人については、任意の接種となる。31年度以降は、国や県の方針を踏まえて市の方向性を検討していく。

Q 若者会議の創設を望む

樋口 若者会議の創設や、各審議会などへ登用しては。

A 市政に反映できる方策を検討

**市民
生活
部長** 若者会議などの設置を含め、若者の要望や意見をより広く市政に反映できるように方策を検討していきたい。

《こんな質問・提案もありました》

- 避難所支援の組織や役割など
- 定期予防接種の助成制度について、助成対象年齢の周知徹底を求む。



こまつぎき としのり
小松崎 敏紀 議員

〔発言時間＝60分〕

**Q インターネット活用に
市の方向性が見えない**

小松崎

市のホームページは平成22年のトップページ変更後、コンテンツの整理などもされずに、わかりにくくなっている。地方創生の時代、ホームページは市民向け広報活動だけでなく、全国向けのサービスの提供ができるよう進化してほしい。

A 情報発信の体制を検討

**政策
企画部長**

ホームページは、市の情報発信ツールとして重要だと認識している。現在のトップページの見にくい状態は、平成29年度にリニューアルをし、情報の拡充やわかりやすい表記にするなど、必要な情報に素早くアクセスできるように努めていく。組織的な情報発信の体制なども検討していきたい。

**Q 地域活性化のため
シティプロモーション充実を**

小松崎

自治体間競争は激化する予想。マーケティングや営業という概念も必要になる。一つ一つのソフト事業に、シティプロモーションの考えを盛り込む必要があると思うが。

A まちづくりが大変重要

市長

今後のまちづくり施策として、大変重要な分野だと考える。市民の皆さんと本市の魅力を引きあげて、全国に鹿嶋を発信していきたい。

小松崎

鹿島アントラーズや鹿島神宮と連動して、知名度は上がっていると思う。今後は、鹿嶋市はどういうまちで、どう暮らしたいのかを知ってもらう施策が必要では。

**政策
企画部長**

シティプロモーションの観点から、本市独自の魅力を市内外へ発信し、若者が住みたいまちづくりに取り組みたい。

《こんな質問・提案もありました》
◎第三次鹿嶋市情報化計画について
◎イベント会場に必要なトイレの整備を



かわい ひろこ
川井 宏子 議員

〔発言時間＝60分〕

Q TPPは批准すべきでない

川井

TPPの茨城県や鹿嶋市にとってのメリット、デメリットをどう考えるか。また、農業に関しては国会決議に違反があり、対策を講じないと減収も予想される。国会で、隠すことなく、具体的内容が明らかにされるべき。農業県として近隣市と協力し、国や県へ意見書を提出することを求める。

A 基本的な制度は維持されている

市長

主なメリットは、国内総生産を上げる経済効果、関税撤廃による食品の安価な輸入、関税引き下げによる輸出増大であり、デメリットとしては、海外からの安価な農産物が流入し、農業生産者の収益が下がるおそれがあることが代表的なものだが、本市の主たる農産物の

米は、基本的な制度が維持されるほか、国の政策大綱で対策がとられているので、全ての農家世帯の減収にはつながらないと感じている。国への働きかけについては、状況を見きわめながら適切に対応していきたい。

**Q 子供、高齢者への虐待が
心配。市の対応は**

川井

本市の、子供や高齢者への虐待に対する対応は。

A 早期発見と早期対応が重要

**健康
福祉部長**

子供の虐待については、専門の家庭児童相談員と保健師を配置し、児童相談所をはじめとする関係機関が連携して支援している。

高齢者については、地域包括支援センターによる状況確認のもと、地域福祉推進委員や警察などと連携して支援している。

虐待防止の周知啓発活動にも取り組み、介護者への支援事業も引き続き実施していく。

《こんな質問・提案もありました》
◎コミュニティバスの位置づけやデマンドバスの方向性
◎子育て世代包括支援センターの設置



たちはら ひろいち
立原 弘一 議員

〔発言時間＝90分〕

Q 原子力発電所は核廃棄物再稼働に絶対反対すべき

立原 私は、全面的に廃炉にすべきだと思う。日本中、世界中から原発をなくし、自然エネルギーで地球の未来を明るくしていかなければならないと思う。市長の見解は。

A 再稼働の可否は国が判断すべき

市長 原子力は化石燃料と違い、発電過程において温室効果ガスの発生を伴わず、太陽光や風力発電のように気象条件に左右されないのが、安定的なエネルギー供給がメリットである。将来的には、地熱やバイオマスなど代替エネルギーの技術革新やコストの低減を図り、緩やかに原子力への依存割合を減らしていくべきと考えている。再稼働については、国が責

任を持って安全性を検証し、可否を判断すべきと考えている。

立原

どんどん自然エネルギーに替えていかなければならないことは、誰も否定していない。市民が、自分たちでつくったエネルギーで電気代を払わなくてもよくなるような、そういう取り組みを市として模索してはどうか。

市民生活部長

市民が中心となって取り組む市民出資型の市民共同発電事業などについては、環境対策で多くの方に感心を持っていたかどうかでも、有効な手法の一つだと認識している。今後、調査研究を進めていきたい。

また、再生エネルギーなどの活用については、平成29年度に予定している地球温暖化対策実行計画策定の中で検討を加えて、自然環境や市民生活に配慮した計画的、効果的な施策の実現に向け努力していきたい。

- 《こんな質問・提案もありました》
- 労災病院と済生会病院の合併の進捗は
- エネルギーで豊かなまちづくりを
- 敬老会実施後の検証
- 歴史資料館建設に係る変更点



さとう のぶなり
佐藤 信成 議員

〔発言時間＝60分〕

Q 歴史資料館の建設費・維持費の財源は

佐藤 歴史資料館の建設費と毎年かかる維持費はいくらか。また、維持費は、鹿嶋市が全額負担するのか。

A 建設費は約16億円

重富推進室長 建設費は用地取得費や工事費など約16億円。維持費は管理委託経費や光熱水費、修繕費などで年間2000万円から4000万円を見込む。人件費を合わせると、指定管理の場合で5000万円から6000万円程度。国宝や重要文化財などの公開展示を行う場合は、職員16名体制で最大限の経費として1億6000万円くらいが見込まれている。建設費には約6億円の国の交付金を想定。維持費は、全額市の負担になる。

佐藤 何かをやめなければ、1億6000万円を支出していけないと心配する。財源はどの分野の予算を削っていくのか。また、維持費に財政調整基金を充てていくこともあり得るのか。

政策企画部長

どの事業を削るのかというよりは、限られた財源を効果的に効率的に配分するために、より一層、事業の優先度や効率性あるいは必要性を見きわめながら、事業の選択と集中を行い、年度予算全体の中で調整していくことになる。

必要に応じて財政調整基金を使用する場合も出てくるかもしれないが、ランニングコストについても、指定管理者によって歳入確保に努めていただき、市の歳出は極力圧縮していきたい。指定管理者の活動を支援するよくな、新たな事業も検討していくこともあるかと思う。

- 《こんな質問・提案もありました》
- 歴史資料館建設の目的など
- 公共施設の維持管理費の額
- 公民館の新設の予定

※財政調整基金：自治体が財源に余裕がある年に積み立て、不足する年に取り崩すことで財源を調整し、計画的な財政運営を行うための貯金。

